

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)		商店街（代表者）	お客様の様子	・客の表情が明るくなってきている。東京オリンピックが近づいて、景気は上向いている。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・秋の繁忙期に入り、徐々に受注量が増えている。
		百貨店（経理担当）	お客様の様子	・所得の高低にかかわらず、あらゆる層で積極的な消費意欲がつかえる。
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・株高を背景として宝飾や時計等、高額品を中心に富裕層の購買が活発化し、売上増加に貢献している。
		百貨店（計画担当）	お客様の様子	・不振が続いた婦人服は、気温の低下が前年より早いいためか秋物の動きが良く好調である。インバウンドの急伸により、化粧品を中心とした雑貨の売上も好調である。
		百貨店（売場担当）	単価の動き	・来客数は増えてないが、客単価が上がっており、前年を超える売上となっている。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・全体的な景気は弱いが、大企業では良くなりつつある。グローバル化で輸出型の大企業は円安により伸びているが、中小企業等の下請には無理な原価引下げ要求をし、銀行等は大企業に低金利で貸し出し、その分を取り戻すため中小企業には高い金利で貸している。大企業と中小企業との格差がますます広がっている。中小企業に勤めている人は、所得が増えず良くない。台風18号で農業も大きな被害を受けたため、野菜や果物等が収穫できず、夏物商材はあまり売れなかった。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・全国各地の地場商品の企画が当たり、売上が増加している。
		コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・若干ではあるが前年同期比では改善し、売上が回復している。店の立地によっては依然厳しいところもある。
		コンビニ（企画担当）	競争相手の様子	・現役世代の消費が拡大している。天候の影響で足元の数字は変わらないが、同業他社や小売業全般、新規マンション数、大型レジャー施設の来客数等は順調である。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・弁当、おにぎり、カウンターで売っているファーストフード商品等の販売が伸びている。主力商品なので良い傾向にあるが、その他の商品は、回復していない。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・客は特売日やポイントサービスデー等をよく知っており、その日の来客数は増加している。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	来客数の動き	・近隣に大型店がオープンし、しばらくは客が流れると心配したが、週末は逆にこちらに客が流れてきて、前年を超える売上となっている。
		一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・秋の行楽シーズンに入ってから、家族連れの客が増えてきている。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	お客様の様子	・賃金の上昇や労働環境の改善等、労働者にとっては良い状況が続いており、景気にも良い影響を与えている。
		観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・前年同月にはスポットの宴会が複数あったので、前年並みは厳しいと当初は見込んでいたが、周年記念の宿泊宴会が複数泊で入り、減少分をカバーして更なる若干の上積みがある。3か月前と比べても良くなっている。
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊については、客単価は低下しているが、稼働率は前年よりプラスで推移している。レストランの客単価は低迷している。
		都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・法人客の宴会予約数が3か月前と比べて増加している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売については徐々に上向きになっている。
		美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・8月はセット商品がたくさん売れたため、9月は前月に比べると少なくなっているが、3か月前と比べれば良くなっている。
	美容室（経営者）	それ以外	・客層が高齢化しており、天候の良い日や涼しい日が多ければ繁盛する。	
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	それ以外	・就労支援施設は、施設数、利用者数共に増加している。製造業等から依頼される内職も増加傾向にあり、人手不足である。	

	商店街（代表者）	販売量の動き	・数字にはまだ表れていないが、販売量は徐々に上向き傾向にある。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・ここ数か月、客には購買意欲が見受けられるが、なかなか販売につながっていない。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・客はより安い物を求めており、節約志向がかなり強くなっている。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・商店街、量販店や駅売店等、どこの売店にも好不調の要因が見当たらない。客は低価格志向が依然として強く、売上増加の気運は感じられない。
	一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・衆議院選挙までは様子見である。
	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・引き続き、あまり良くない景気が続いている。
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	お客様の様子	・相変わらず個人経営の飲食店には閉店が目立つ。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・お彼岸の販売量は前年とほぼ変わらなかった。その他の日も販売量は変わらない。お盆を過ぎてから価格は安定しているが、客は必要な物は高くても買うが、不要な物にはどんなに安くても金を使わない。
	一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・景気は、どちらかといえば下向きの横ばいである。夏のバーゲンセールも終わって端境期となり、来客数は落ち込んでいる。地下食料品売場は何となく活況に見えるが、他のテナントではぼやきの声ばかりである。天候不良の影響をまともに受け、祭日、土日の来客数が極端に落ちている。調剤部門は引き続き安定している。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・大企業の半期決算で、ある程度の売上を見込んでいたが、一部の大口先を除いて来客数は減少している。売上は少数の大手企業で支えられ、何とか現状を維持している。
	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・美術品、貴金属等の高額品には動きがあるが、衣料品等は引き続き不調である。
	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・動きの良い商品の価格帯はさほど変わらないが、自家需要に関しては、一時の購買意欲の高い客が多かったところと比べると、購入に慎重な客が目立ってきている。ギフト需要は安定している。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・八百屋等、中小小売店を営業している人の話では、経営的にはあまり変わらないとのことである。
	スーパー（店員）	販売量の動き	・暑さも徐々に和らぎ、初秋の天候に恵まれ、昼間の来客数が回復してきている。これといって売れる商品がないため、業況としては横ばいである。
	スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・店全体の売上は前年同期の97%である。売場改装の成果が、住居用品のみ107%と前年をクリアしているが、食品が相変わらず不振である。
	スーパー（販売担当）	それ以外	・9月中旬の台風で需要があり、何とか売上予算を達成できたが、それを除けば、3か月前と景気は変わらない。
	スーパー（営業企画）	お客様の様子	・特に客の消費傾向には変化はない。必需品に対しては低価格志向が強い一方、嗜好品については高額な商品も動いている。
	スーパー（ブロック長）	単価の動き	・競合店への対抗で目玉商品を数多くそろえているが、値下げ品やポイント対象の商品で何とか売上を確保している状態であり、利益確保は難しい。
	スーパー（人事担当）	単価の動き	・購入単価に大きな変動はない。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・キャンペーンによる集客増加で、デザートや菓子の動きが特に良く、前年同月比で1.3%の売上改善につながっている。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・売上、来客数共に前年比で2割減の状況が続いている。外的環境の変動が主な理由で、特に回復するような兆しはない。
	衣料品専門店〔紳士服洋品〕（売場担当）	お客様の様子	・依然として衣料品の動きが厳しい。手にはするが購入までには至らない。衣料品以外の雑貨や靴については、回復傾向がみられる。
	衣料品専門店（販売企画担当）	競争相手の様子	・同業他社の集まりでは、良くなってきている会社も悪いままの会社もあるが、悪い会社の方が多い。
	家電量販店（店員）	販売量の動き	・日によってばらつきはあるものの、買換え需要に支えられ1か月のトータルでは例年どおりである。

	乗用車販売店 (営業担当)	来客数の動き	・9月の決算期にもかかわらず、来客数が伸びない。
	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・引き続き買換え客が多く、なかでも新車への買換えが多い。
	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・政府の経済政策も、鳴りを潜めている感があり、特に代わり映えのしない経済状況である。
	乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・景気が悪くなっているというほどではないが、衆議院選挙や北朝鮮の問題等があり、国民全員が不安を感じている。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新車のショールームは客でにぎわっており、決算期らしい風景だが、思ったほど成約に結び付かない。ハイブリッド車種への関心は高いが、他の車種は不振である。ファミリー層向けのミニバンを除き、全体的には横ばいである。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新車販売台数については、半期決算ということもあり前年並みを維持しているが、店頭での新規客への販売は少なく、地道な活動による自社買換え客がほとんどである。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・秋から年末に向けての増販月に入っているが、これまでけん引してきた車種には勢いがなく、中間決算による販売促進にもかかわらず、客の動きは鈍い。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・高い車はあまり売れないが、全体としての動きは悪くない。
	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・前半は競合店が決算セールを行っており、新規来客数も受注数も少なかったが、後半に入って盛り返し、前年同月並みとなっている。月全体で見れば平均的な来客数となり、あまり変わらない。
	住関連専門店 (営業担当)	お客様の様子	・持家住宅は、戸建て、マンション共に減少気味である。大規模改修やリフォームは増加している。
	その他専門店 [貴金属](営業担当)	お客様の様子	・客の動きが少しずつ変わってきている。高額な貴金属や宝飾品に金を使うよりも、自分へのご褒美としてプチぜいたくを求める傾向にあり、金額の大きな商品はなかなか売れない。
	その他小売 [ショッピングセンター](経理担当)	販売量の動き	・売上高は前年比でマイナス0.8%。来客数は前年比マイナス1.2%である。
	一般レストラン [パン・カフェ](経営者)	それ以外	・いろいろな仕入先に聞いても、景気は今一つである。当店でも、来客数は変わらないが、購入点数が少なくなっている。
	一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・金を使う人は使うが、使わない人は使わない。金の使い方や動きが明確になってきている。
	その他飲食[仕出し](経営者)	販売量の動き	・北朝鮮の問題や不安定な政治情勢等で、景気回復への良い流れがなかなか生まれてこない。
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・予約時のリードタイムは、相変わらず短い。
	旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・消費が2極化している。都心部と郊外では地価を始め様々な物の値段に差が出てきている。ターミナル駅エリアの高層ビルの従業員でも、高級レストランで昼食を取る人とコンビニ弁当や自宅から弁当持参の人等、細かく分析する必要がある。
	旅行代理店(経営者)	単価の動き	・今年も残り3か月で、最近は11月から年明け等、次のシーズンの問い合わせが増えている。価格面ではお買い得な一方で質の良い商品が求められている。グアム、韓国との問い合わせは少なく、アジア方面では気候の温暖な場所の問い合わせが多い。欧州方面は、テロの影響で問い合わせが少ない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・夜の繁華街は長い間人出が少ない。以前は、週末になると人出が多くなり期待を感じる日もあったが、最近はそういう日はない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・8月は旅行やお盆帰り等、タクシーを利用する機会が多いが、9月は外出する頻度が少なくなる。客足は落ち着いている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・前月とあまり変わらない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・利用客としては高齢者の通院や買物等が多いが、このところ減少が続いている。夜の利用客も減少している。

通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約数は減少、解約数は増加と、数字だけでみれば悪化しているが、特に販促等を仕掛けなくてもこの状況ということは、それほど悪くはない。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・あまり変化がない。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・前年同期並みで販売数が推移している。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・春先は客の動きが良い方向にあったが、夏以降はそれが感じられない。
ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・来客数は前年同期より増加しており、売上も少し増加している。台風の影響もあって予算には達しなかったが、景気としては悪くはない。
その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	来客数の動き	・観光列車の予約状況が芳しくない。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	それ以外	・景気を左右するような動きは、あまり感じられない。
設計事務所（経営者）	来客数の動き	・以前からの計画案件が実施設計の段階に進んでいる。案件自体は小規模なままである。
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・大きな動きはない。
住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・建築塗装業は、従前から低迷状況が続き、これ以上は悪くなりようもない。新築物件が減ってリフォーム物件も一段落の感がある。
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	お客様の様子	・9月の3連休にイベントを開催し、来客数はかなり多かったが、即決する客はなく、営業力がないと需要の取り込みは難しい。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・来客数は変わらないが売上は厳しい。イヤホンで音楽を聞きながら聞こえないふりをして商品を見たり、携帯で話しながら店内を回ってから出ていく人が多く、購入客は少ない。
スーパー（店長）	販売量の動き	・安い特売品はよく売れる。客は価格に敏感になっている。
スーパー（店員）	販売量の動き	・9月に入ってから、前月よりも販売量が少なくなってきた。
スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・今月の売上は予算比98.5%、前年比94.7%と大きく下回っている。粗利も前年比94.5%と、非常に厳しい数字である。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が前年割れの店舗が増えており、全体の8割に達するような状況である。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・購入点数の減少が気にかかる。夏休み明けということもあるが、週末の客単価が下がっている。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・今月は残暑がそれほど厳しくないで飲料やアイスクリーム等の売上が悪く、全体としても前年同期をやや下回っている。
家電量販店（店員）	来客数の動き	・政治情勢を含む不安要素が、消費者の購買意欲を抑制している。ひとまず政治が落ち着くまでは、このまま様子見が続く。客との話でもこの先どうなるかわからないと不安を感じる人が多く、全体的に悪い方向に向かっている。
高級レストラン（役員）	来客数の動き	・前年同月比で来客数が減少している。特に日曜・祝日の客足に勢いが無い。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・客からは消費マインドが感じられない。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・9月に入ってから、販売量が減少している。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数は減少傾向にある。3か月前は、前年同月比で5～10%のプラスであったが、足元では5～10%のマイナスになっている。景気は悪くなっている。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・北朝鮮情勢の悪化やバリ島の噴火予測等で、海外渡航客の不安要素が増えており、旅行を中止する人もいる。
旅行代理店（従業員）	それ以外	・北朝鮮のミサイル問題で海外旅行を控える人が増えている。修学旅行等の教育旅行でも、グアムを避けたり旅行を中止する学校があり、かなりの風評被害で売上や利益が減少している。今後も米朝のやりとり次第で、悪化する可能性が大いにある。
通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・事務用回線の新規申込は増加しているが、住宅用回線の申込は減少している。

	テーマパーク (職員)	お客様の様子	・世界情勢が不安定のため、インバウンドが前年同期より少ない。
	理美容室(経営者)	来客数の動き	・もう少し来客数があってもいいはずだが、まだ暑い ためか、なかなか来てくれない。
	美容室(経営者)	来客数の動き	・天候の問題もあり、以前よりも来客数が減少している。
	美容室(経営者)	お客様の様子	・地域から人口が流出し、景気が良くない。将来も不安である。
	設計事務所(職員)	お客様の様子	・客の話の中でも、景気が良くなる話は聞かない。
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・お盆休みの集客で今の状況が決まっている。来場者が少なかった分、9月は客足が伸びない。今後も期待が薄く、12月までこのままの調子で続く可能性が大きい。
	その他住宅[住宅管理](経営者)	単価の動き	・仕事量はあっても発注価格が低いため、年々利益が出なくなっている。利益率の悪い物件では断る仕事もある。この状態がしばらく続く。
x	商店街(代表者)	販売量の動き	・9月の売上は、後半はやや持ち直したものの、前半は低調で非常に悪かった。前年同月比でもかなり減少している。
x	衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・残暑のせいばかりではないが、一見客の来店がほとんどない。なじみ客に飽きられないよう、数年ぶりに新しいメーカーの商品を取り入れたところ、比較的感触が良くて安心している。
x	乗用車販売店(経営者)	来客数の動き	・今月は客の動きが悪い。需要を喚起するマイナーチェンジやモデルチェンジがなく、天候も不安定で週末の来客数が少ない。
x	パチンコ店(経営者)	販売量の動き	・来客数の動きや単価の動きが悪くなっている。
x	理容室(経営者)	お客様の様子	・客足は、相変わらず安い店に流れ、お手上げである。
x	住宅販売会社(経営者)	来客数の動き	・広告を出してもなかなか客が来ない。少子化で分譲住宅の購入者が少なくなり、先行きも不安である。
企業 動向 関連 (東海)	*	*	*
	化学工業(人事担当)	それ以外	・建物のオーナーから30%の賃料値上げの申し入れがあった。ターミナル駅エリアは再開発が進み、新規のオフィスビル等の建設が進む一方、会社等の流入が続いているため、既存物件でも賃料が高騰している。
	一般機械器具製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・海外自動車生産向けの設備では、近年はメキシコ、カナダ向けが多かったが、最近は米国本土向けかつ短納期の案件が増えている。
	電気機械器具製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・地域や製品により計画未達はあっても、全体としては好調な売上が続いている。
	電気機械器具製造業(営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・円安傾向で価格面に好影響がある。
	電気機械器具製造業(総務担当)	取引先の様子	・2018年末から本格的にスタートする4K放送に対応するため、ケーブルテレビ事業者では光回線化等、設備の高度化が進められている。それに伴って設備更新工事や光関連機器の需要が増えている。
	輸送用機械器具製造業(品質管理担当)	取引先の様子	・微増ではあるが、製品の生産数が増加傾向にある。
	輸送用機械器具製造業(総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・新型車種発売の効果もあり、生産が増加している。
	不動産業(用地仕入)	競争相手の様子	・競合他社では都心の高額マンションの売行きが良い。
	行政書士	受注量や販売量	・貨物には荷動きが出てきている。
	会計事務所(社会保険労務士)	取引先の様子	・客先の決算が好調である。納税額も増えている。
	その他サービス業[ソフト開発](社員)	受注量や販売量の動き	・取引のない先からも問い合わせが舞い込んでくるが、実態として余力がなく、断っている。
	食料品製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量は前年並みだが、長期的には年々減少傾向にある。
	パルプ・紙・紙加工品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に大きな変化はなく、景気は横ばいである。

	化学工業（総務秘書）	それ以外	・飲食店やデパートの来客数をみると、良くも悪くもなってはならず、相変わらず景気はやや良い状況が横ばいで続いている。
	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に、秋の需要期としては期待ほどではない。例年なら、夏場の平均需要より1～2割程度は増加する時期だが、今年は5%程度にとどまっている。
	金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・今期の足元の仕事量が固まっていない。プロジェクトの動き出しが遅れた結果、足元にはあまり仕事がなく、来年度以降に集中する懸念がある。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月は客の稼働日数の関係で若干減少したが、9月に入ってから例年並みに回復し、受注量、生産量共に横ばいである。
	建設業（営業担当）	取引先の様子	・新しい事業を提案しているが、なかなか予算がつかない。
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・輸入貨物が、前年同期比で3%ほど減少しているが、その他の荷動きは堅調に推移している。
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・荷動きはわずかながら増加している。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・景気が横ばいで、輸出入量に変化する要因がない。
	輸送業（エリア担当）	競争相手の様子	・同業者との会合でも景気についての話題になるが、景気回復の起爆剤になるような要因は聞かない。
	通信会社（法人営業担当）	それ以外	・消費者物価が2年10か月ぶりの高水準である。求人倍率も横ばいで、依然として人手不足感があり、雇用情勢も上向きが続いている。
	通信会社（総務担当）	それ以外	・企業は生産性の向上に必死であるが、需要は増えていないため、景気の上昇感を感じない。観光バスやタクシー等の状況から市内や近郊観光地への客足をみても、3か月前とあまり変化していない。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・地元の自動車産業の景気等は良くも悪くもなく、代わり映えのない平穏な日々が続いている。
	金融業（企画担当）	取引先の様子	・為替や株価に大きな動きがなく、個人投資家の含み益も大きくは変わらないため様子見の客が多い。利益を確定したり含み益が大きくなれば消費意欲も高まるが、現状では動けない状況である。
	不動産業（経営者）	それ以外	・例年より雨天が少ないこともあり、好調が続いている。売上は前年同月比で10%上回っている。駐輪場は必要かつ低額で利用できるため、この支出を惜しむほど景気は悪くない。
	不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・大きな価格の変動は見受けられない。
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・受注量としては紙媒体も電波媒体もあまり変化はなく、数か月前の状況とほぼ同じである。
	公認会計士	それ以外	・客先の中小企業の業績はととも厳しい。人手不足、電気料金の引上げ、輸入材の価格高騰、大企業への販売価格の頭打ち等が中小企業の収益性を厳しくしている。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・大企業では合併や提携が加速し、シェアを伸ばす企業がある一方、中小企業は苦戦している。建設工事においては、大手から中堅企業が独占して中小企業まで受注が回らない。飲食店でも大手チェーンの安売りで、小規模店は厳しい状況である。
	その他非製造業 [ソフト開発] (経営者)	取引先の様子	・受注量や新規の物件等の案件は引き続き多く、やや良い状況が続いている。来月以降の受注もあり、年末に向けては忙しくなる。
	窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・前年まで売上の2割以上を占めていた主力製品が、他社製品に切り替えられ、受注量がついにゼロになった。残業は全くなく、在庫が増えつつある。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少している。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物の動きが前年同期比マイナス1.4%と悪くなっている。
x	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・規制等によって、客先業界全体が不景気になっている。客の設備投資状況も悪くなっている。
雇用 関連	-	-	-
	人材派遣業（営業担当）	採用者数の動き	・求人数は引き続き多く、今後も採用活動を強化する傾向が見受けられる。

(東海)	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・9月も、従来から続くやや上向きの景況感に変化はないが、エンジニアの稼働率は3か月前よりもやや高い水準となっており、更に景気はやや良くなっている。
	アウトソーシング企業(エリア担当)	採用者数の動き	・下期の自動車生産台数を確保するため、雇用者を確保する動きがある。
	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・3か月前に比べて、有効求人数は変わらず、有効求職者数が4.7%減少している。
	人材派遣会社(社員)	求職者数の動き	・引き続き求職者が不足している。
	人材派遣会社(支店長)	求人数の動き	・求人数は3か月前に比べて10%増加、前年同月比では数%の増加傾向が続いている。
	人材派遣会社(営業担当)	それ以外	・株価の動きに変化がない。
	職業安定所(所長)	求職者数の動き	・新規求職者は前年同月比でマイナスが続いているが、マイナス幅はこれまでより縮小しつつある。
	民間職業紹介機関(営業担当)	採用者数の動き	・既存分野にではなく、新規分野での事業化に注力する企業が増えている。
	民間職業紹介機関(支社長)	求人数の動き	・求人数は引き続き堅調である。
	人材派遣会社(社員)	求人数の動き	・例年よりも悪い状況である。9月中旬にイベントが終了し、それ以降は法人客の利用が少なく、やや悪くなっている。
	新聞社[求人広告](営業担当)	周辺企業の様子	・秋の声を聞いても大きな変化はない。多くの人にとって、購買意欲につながるようなモチベーションが欠けている。
	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・雇用情勢は数字の上では安定しているが、管内企業からは離職についての相談が多数あり、不採算拠点の閉鎖という話も少なくない。企業は決して経営に余裕があるわけではなく、先行きの不透明感から常に経営体制の再構築を考えている様子である。
	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・雇用保険受給者が4か月連続で前年同月を上回っており、事業主都合による退職者も増加している。求人も、正社員より非正社員の募集が多い。
	x	-	-